

日米共同情報分析組織「BIAC」の陸上自衛隊座間駐屯地
(キャンプ座間) への移転について

令和8年8月31日、日米共同情報分析組織「BIAC」の横田基地から陸上自衛隊座間駐屯地（キャンプ座間）への移転について説明を受けたが、移転により、今後、基地の位置付けが高まり重要性が増すことになると、基地の機能強化、恒久化へ繋がる可能性や市民生活への影響が懸念されるところである。

基地所在市である相模原市及び座間市としては、基地の機能強化、恒久化への懸念と市民の不安を払拭することが重要である。

こうしたことから、次の事項について、国として取り組むことを求める。

- 1 基地の機能強化・恒久化につながる施設整備は行わないこと。
- 2 基地周辺の市民生活に影響が生じることのないよう万全の措置を講じること。
- 3 市民の不安を払拭するため、詳細な情報提供及び丁寧な説明を行うこと。

令和8年9月11日

南関東防衛局長 鋤先 幸浩 殿

相模原市長 本村賢太郎

座間市長 佐藤 弥斗